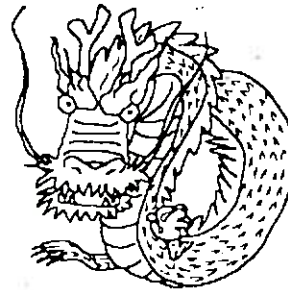


ひろば大代

NO.246

大代公民館



年頭のご挨拶

公民館長 笹木光夫

新年 明けましておめでとうございます。昨年は公民館事業発展の為、町民の皆様のご協力とご尽力に對して敬意を表し衷心より感謝申し上げます。

大きなトラブルもなく二千年がスタート致しました。今年も私達をとりまく社会情勢は非常に厳しく、世間では春斗賃上げよりも、雇用安定を理由に賃下げ要求が出てくる有様です。

さて厳しい状況ではありますが、幸いな事に町内では活性化のグループ、

一万円札の会、竹炭の会、はぐるま会等を中心に老若男女が活動されていきます。今年は今更なる前進の為公民館も頑張りたいと思います。

又今年四月から介護保険制度も実施されます。町民の皆さんが安心して暮らせる町にしたいと思えます。

最後になりましたが、大代高山会は今年十五周年となります。昨年は運動会を実施し、なかなか好評でした。今年は今全町民の皆さんのアイデアを結集して、全員参加を目標に町外で働いて居られる多数の皆さんが参加して都市交流会を成功させたいと思えます。

今年も多大なるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

新年のご挨拶

東京石見高山会会長 楠 義見

新年明けましておめでとうございませう。ご郷里の皆様にはお健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

東京石見高山会も、一千年の最後・創設十五周年という節目の年に、前、

田中会長のご尽力と、郷里の皆様方のご協力により、錢太鼓同好会の皆様をお迎えし、郷土芸能を楽しく拝観し、ふる里との絆を一層深めさせて頂きましたことを深く感謝申し上げます。

社会情勢を振り返ってみますに史上希にみる天変地変災害の起きた一年であつた感が致します。

台風による災害、人間の怠慢から起きた東海村臨界被爆事故、通り魔殺人誘拐、心のぶつかり合いによる幼児殺害等で、尊い生命を失われた方、その他いろいろ不幸事と明るいうニュースの少ない年でありました。

今年も、二千年という大きな節目に遭遇できたことに感謝し、登龍門という故事のように、よりよく明るい社会を後世に伝えるよう努力精進いたしました。思っておりますので宜しくお願い致します。

最後になりましたが、大代町の皆様を始め、関西高山会、東京石見高山会、会員の皆様のご多幸とご活躍を念じ、佳い年になりますよう祈念致し新年のご挨拶とさせて頂きます。

二十才になつて

川上 鈺 康範



私は昨年の十二月、二十才の誕生日を迎えることができました。

正直言つて、まだ実感がわいてはいませんでした。そして新年を迎え、一月四日、大田市の成人式に出席し、改めて二十才というのを実感しました。

昔は、二十才になれば酒が飲める、煙草が吸えるといったイメージしかなかったのですが、今思うと、何かプレッシャーみたいなものを感じるようになっていました。

二十才になつて大人の世界に突入したわけです。まだルールというものが分からない部分もあり、とまどいもありませんが、それにめげる事なく、頑張つていきたいと思ひます。

周りの人がよく言う言葉があります。「二十才になれば三十なんてすぐだぞ」これから悔いのない二十代にしていきたいですし、エンジョイしていきたいと思ひます。

成人式を迎えて

本郷 山根啓子

一月四日に晴れて成人式を迎えることができました。成人式を迎えたからには、何事にも真剣に取組みたいと思ひます。何をやるにもまずは自分で考へてから行動を起こします。

今年には社会人になつて三年目になります。私生活にも責任を持つて、楽しく充実した日々を送つていきたいです。これから先に何が起こるかわかりませんが、何事にもめげずに生きていきたいです。

二千年はぼくの年

小学校五年 武田祐亮



二千年はぼくの年、辰年です。今年ぼくは六年生になります。最上級生になるののでしっかり勉強もやつて、あと陸上や体操などの行事も最後になるので記録をのぼすようにがんばりたいと思ひます。

今の想ひ

柿田 岡田繁樹

記念すべき二千年に、年男、四十八才を迎えました。今年一年、平凡な生活を送ればと……。その平凡な生活が、なかなか送れないのが人生なんでしょう。

今年長男が、親元を離れ生活することになりました。寮生活といえども、「やれるだろうか。」「大丈夫だろうか。」と気になり、心配です。

二男、長女もそれぞれ勉強に、運動に頑張つてほしい。十二年後は、どんな子供達に成長してくれるのだろうか。親の心配をよそに、子供達はそれぞれにやつてくれるだろう。自分の健康に気をつけ、今年も頑張ります。

幼・小・公合同講演会のお知らせ

日時 一月三十日(日)

午後三時から午後四時半まで

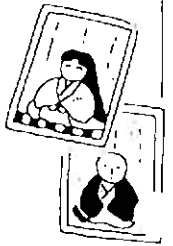
場所 大代小学校

講師 稲田 彰先生

(益田・中西中学校校長)

二千年を迎えて

弓久 笠岡勝江



おめでとうございます。二千年ミレニアム、騒がれていた諸問題もなく、さわやかな春の日ざしの天候に恵まれるのスタート、うれしく思います。

昭和十五年生まれの最初に六十才を迎えるのは自分だと聞き、ひろばに一筆と言われ困りました。

そういえば、昨年六十才の同窓会を八月に行い、二十二名の出席者が集まり、それぞれの苦労話や四十五年ぶりとなる友の話等、懐かしさで一杯でした。

そして昨年、私にとって三十七年間共に暮した良きアドバイザーでもあった祖母を送りました。「さようなら、有難う」の言葉を最後に頂き、良き日ばかりとは申しませんが、何もかも消え去り、改めて感謝の言葉の偉大さと大切さに気づきました。

戦争終戦後とかげめぐり、今は物の満足さ、家族関係等、人の心の素ほくさや優しさが失われつつあるようで、

さみしさを感じます。

しかし、一方では暖かい話やボランティアに参加される方々の事を思う時自分も何かしなくてはと感じます。これからは過疎化、高齢化社会、各地での助け合いが大切です。せめて人様に迷惑をかけることがないよう希望と夢を持って頑張つて！と願っています。

俳句

あすなる句会

二千年松竹梅の年酒酌む

初風や視界千里の青さかな

大田市 原田萬里

雪嶺の稜線画く初御空

初風呂や湯気の中なる笑ひ声

下谷 尾崎三枝子

手作りの門松立ちし集会所

雪折れの木々に夜来の雨しとど

下市 渡 あやこ

見覚えの癖字懐し年賀状

二千年期待大きく年明るる

柿田 横手いちえ

老ひし母昼夜はなさじ冬帽子

初書や一気に書きたる龍一字

八反田 森 信子

一夜にて雪一尺の積りたる

選暦もとうに過ぎたりなす粥

椿 花田時子

初詣大杉暗し燈登る

片言の孫年玉の礼を言ふ

下市 今田文字

二千年恵方へ向きて手を合はす

城山の裾野パイパス初明り

上市 笹田サチエ

初詣穏かなりし二千年

正月や孫の残せし滑り跡

川上 岩田律枝

無住寺に一期一会の初燈明

忽然と晴るる冬霧父祖眠る

椿 柿丸寿枝

◆23日(水) 連合自治会

◆22日(火) ふれあい教室

◆20日(日) 出張確定申告相談

◆18日(金) 編集委員会

◆13日(日) 福祉弁当

◆8日(金) 編集委員会

◆20日(日) 出張確定申告相談

◆22日(火) ふれあい教室

◆23日(水) 連合自治会